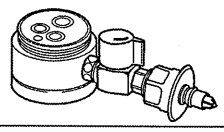
(株)KVK

KVK製のシングルレバー式(デッキタイプ)用

食器洗い乾燥機 給湯仕様

給水接続も可能です。→裏面参照



分岐金具[EUDB300SKA5] 施工説明書

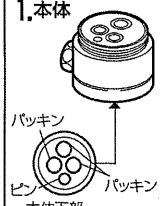
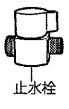
主な適用機種は　KM306・KM307

詳しくは「分岐金具選定マニュアル」をご参照ください。

施工する前に裏面の「施工に関する安全上の注意」を必ずお読みください

施工終了後は、ご使用のお客様の方で本施工説明書の「日頃のお手入れと点検」をよくお読み頂き、大切に保管してください。

部品の確認　次の部品があることを確認してください

1.本体	2.止水栓 (パッキン大、パッキン小)	3.カプラーユニット (緊急止水弁付)	4.押し棒
			
パッキン、ピン、パッキン、本体下部	止水栓、パッキン大、パッキン小		
		5.施工説明書	

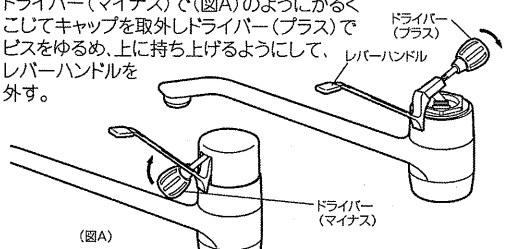
◎凍結のおそれがあるところへの設置は避ける
水漏れのおそれがあります

1 水道メーターの止水栓またはバルブを閉じる。

注水栓から水が出ないことを確認してください。

2 レバーハンドルを取外す。

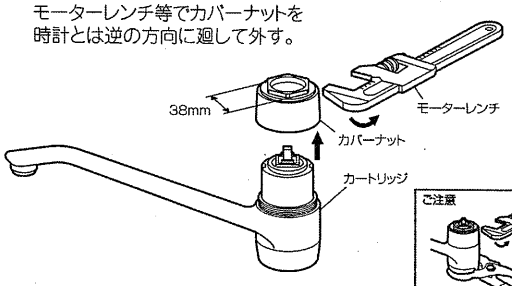
ドライバー(マイナス)で(図A)のようにかるくこじてキャップを取外しドライバー(プラス)でビスをゆるめ、上に持ち上げるようにして、レバーハンドルを外す。



(図A)

3 カバーナットを取外す。

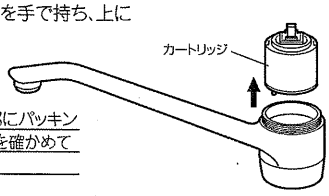
モーターレンチ等でカバーナットを時計とは逆の方向に廻して外す。



注意:カバーナットをゆるめるときに本体が廻る場合がありますので注意してください。

4 カートリッジを取外す。

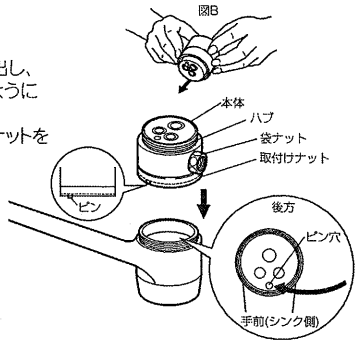
カートリッジの外周を手で持ち、上に抜くように取外す。



注カートリッジの下部にパッキンが付いていることを確かめてください。(3個)

5 分岐金具を取付ける。

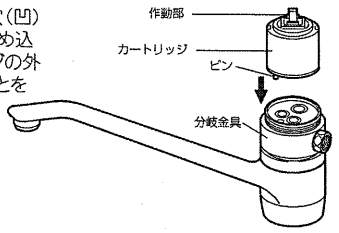
①分岐金具の本体を(図B)のように押し出し、分岐金具のピンと水栓のピン穴と合うようにはめこむ。
②本体を手で押さえながらハブを廻し袋ナットを食洗機設置方向に向ける。
③取付けナットを手で確実に締め付ける。



注工具は使わないでください。
注分岐金具の下部にパッキンが付いていることを確かめてください。(3個)

6 カートリッジを組み込む。

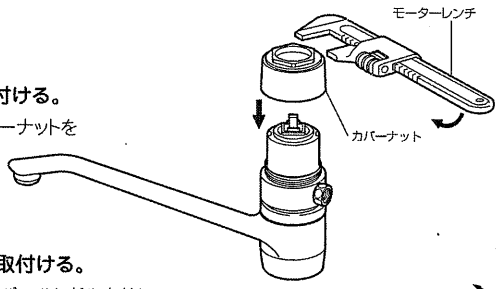
カートリッジのピン(凸)と分岐金具のピン穴(凹)とが合うように、上からはめ込む。正確にはめ込まれているかを確認するために、カートリッジの外側を手で持ち、左右に動かして、動かないことを確かめてから、次の作業を行う。



注カートリッジの下部にパッキンが付いていることを確かめてください。(3個)

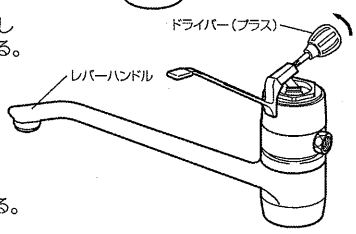
7 カバーナットを取付ける。

分岐金具のネジ部にカバーナットをネジ込み、締め付ける。



8 レバーハンドルを取付ける。

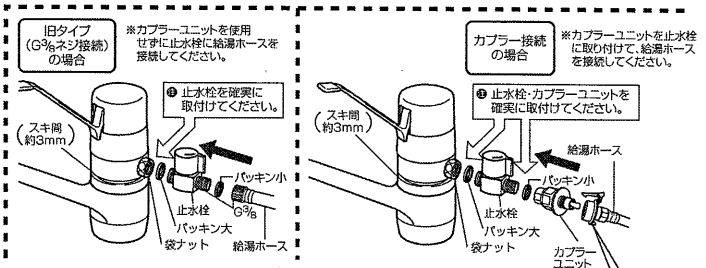
カートリッジの作動部にレバーハンドルを差し込み、ドライバー(プラス)にてビスを固定する。キャップをかぶせる。



9 給湯ホース接続を行う。

止水栓を分岐金具に取付け、給湯ホースの接続仕様にあわせて、給湯ホースを接続する。

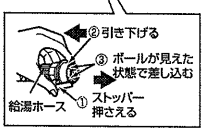
注パッキンの付け忘れにご注意ください。



必ず実行

元栓や止水栓の開放は、必ず給湯ホースを接続した後に行う
高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

取付作業完了後、水栓及び分岐金具各部からの水漏れが無いか特に注意して確認する
家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



施工に関する安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
また、ご使用のお客様の方で本施工・取扱説明書の「日頃のお手入れと点検」をよくお読みいただき、大切に保管してください。

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注 意

禁止

凍結のおそれのある所への設置は避ける
水漏れのおそれがあります。

施工前後に水道の元栓又はバルブの開放状態のままで分岐金具、水栓金具などの分解、取り外しはしない
障害、物損、故障、水漏れなどのおそれがあります。

分岐金具の改造は行わない
水漏れのおそれがあります。

水栓金具のカートリッジは落としたり、分解しない
取付けができなくなったり、水漏れのおそれがあります。

⚠ 注 意

分解禁止

分岐金具は絶対に分解しない
水漏れのおそれがあります。

必ず実行

70℃以上に設定された給湯機をご使用の場合は、必ず給水接続で使用する。
取付けができなくなったり、水漏れのおそれがあります。

水道の元栓又はバルブの開放は必ず分岐金具と食器洗い乾燥機を給湯ホースで接続したあと行う
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

分岐金具を取り付ける場合、必ず施工説明書で指示されている工具を使って取り付ける
指示されている工具以外で取り付けを行うと傷を付けたり施工不良により水漏れのおそれがあります。

分岐金具取付け完了後、食器洗い乾燥機の試運転を行い、水栓本体と分岐金具との間から水漏れがないかよく確認する
家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
高温の湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。

カートリッジ押さえの取り外し、取り付けを行うときは、水栓本体が廻らないようにする
水栓内部の配管のねじれによる破損、水漏れのおそれがあります。

給水接続への切替え方法

●給湯接続と比べて洗浄時間が長く、ランニングコストが高くなります。

高温給湯タイプ（70℃以上でしか温度設定ができない）の電気温水器など、ガス・石油給湯機をご使用の場合に給水接続に切替えてください。

●部品の組替え時に分岐金具やパッキン等を傷付けない
水漏れのおそれがあります。

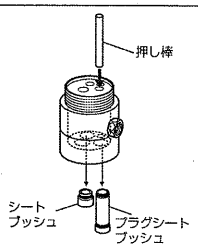
（給水接続の切替え後、表面の施工手順で水栓に取付ける。）

●シートブッシュ・プラグシートブッシュに取り付けているパッキンは取り外さない
（紛失すると施工できなくなるおそれがあります。）

●手などにケガをするおそれがあります。十分注意して取り付け、部品の組み替え作業を行ってください。

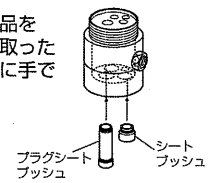
手順①

同梱の押し棒を分岐金具上部の穴に差し込み、シートブッシュ・プラグシートブッシュを押し出す。



手順②

抜き取った部品をそれぞれ抜き取った穴とは逆の穴に手で押し込む。



※図は代表例です。（SS5）実際の商品とは絵が異なる場合があります。

日頃のお手入れと点検

必ず実行

定期的に配管の周り（ホース接続など）を点検し、水漏れがないか確認する
部品の劣化摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

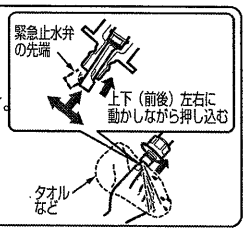
お手入れの際は、まず水道の元栓、及び分岐金具の止水栓を閉じた後に作業を開始する
止水栓付き取付脚の場合は、止水栓を閉じる
家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
高温の湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。

お手入れの際は、安全の為給湯器などの運転スイッチを切り、分岐金具が十分冷えたのを確認して作業を開始する
高温部位に触れるとやけどをするおそれがあります。

使用中にホースが外れた場合の注意

●**開閉ハンドルを閉めて**、緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下(前後)左右に動かしながら押し込み、湯を抜いてから給湯ホースを取り付けます。
熱湯が出る場合がありますので注意してください。

●水圧が高くレバーが押せない場合は、継手部をゆるめてから湯を抜きます。
その後、必ず継手部を取り付けてください。



商品のお問い合わせは・・・ TOTO（株）お客様相談室へ TEL 0120−03−1010 FAX 0120−09−1010

修理のご用命は・・・ TOTOメンテナンス（株）修理受付センターへ TEL 0120−1010−05 FAX 0120−1010−02

補修用部品のご購入は・・・ TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ TEL 0120−8282−55 FAX 0120−8272−99

インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/